

知床国立公園知床五湖利用調整地区に係る利用者の人数の範囲の変更に関する 意見の募集（パブリック・コメント）の実施結果について

1. 概要

令和8年6月9日（火）から同年7月8日（水）までの間、今回の変更に対する国民の皆様からの御意見を募集した結果について公表します。

2. 変更に対する国民の皆様からの意見募集の結果

【意見提出数】

- | | |
|-------------------------|----|
| ・パブリックコメント意見提出フォームによるもの | 3通 |
| ・電子メールによるもの | 0通 |
| ・郵送によるもの | 0通 |

【整理した意見総数】

- | | |
|--------------|----|
| ・今回の変更案に係るもの | 3件 |
|--------------|----|

3. その他

令和8年7月27日 変更内容を官報告示

パブリックコメントの実施結果

意見番号	御意見の概要	対応方針
1	利用が増えることで、ルール違反やごみの放置、騒音等による野生動物への影響、ヒグマとの事故やあつれきの発生が懸念されるため、上限の変更は不要である。	知床五湖の素晴らしい自然をなるべく多くの皆様に体験していただくために、関係者間で協議や検証を重ねて、利用者数の上限の引上げについて検討してまいりました。その結果、今回、利用者数の上限を引き上げた場合においても、知床五湖の静寂性及び自然体験の質を確保できるよう運用することとしており、また、ヒグマによる事故リスクの増大につながるものではないことが確認されています。引き続き、知床五湖の自然環境の保全、野生動物への影響、利用者の安全や自然体験の質の確保に留意しながら、適切な管理運営を実施してまいります。
2	利用者数の増加は、自然や動物への影響及び人間の不適切な行動によるリスクを高めるものであり、自然保護の観点から利用者を増やすべきではないため、上限の変更は不要である。	知床五湖の素晴らしい自然をなるべく多くの皆様に体験していただくために、関係者間で協議や検証を重ねて、利用者数の上限の引上げについて検討してまいりました。その結果、今回、利用者数の上限を引き上げた場合においても、知床五湖の静寂性及び自然体験の質を確保できるよう運用することとしており、また、ヒグマによる事故リスクの増大につながるものではないことが確認されています。引き続き、知床五湖の自然環境の保全、野生動物への影響、利用者の安全や自然体験の質の確保に留意しながら、適切な管理運営を実施してまいります。
3	現行の上限の下でヒグマによる事故が発生していない実績は、単位時間あたりの新規立入団体数を大幅に増やした場合の安全性を直接示すものではなく、研修拡充等の対策も立入人数の増加による遭遇リスクを定量的に評価したものではない。また、植生等の自然環境への影響評価も示されておらず、利用ニーズを理由に上限を緩和すべきではないため、上限の変更は不要である。	知床五湖の素晴らしい自然をなるべく多くの皆様に体験していただくために、関係者間で協議や検証を重ねて、利用者数の上限の引上げについて検討してまいりました。その結果、今回、利用者数の上限を引き上げた場合においても、知床五湖の静寂性及び自然体験の質を確保できるよう運用することとしており、また、ヒグマによる事故リスクの増大につながるものではないことが確認されています。 また、利用調整地区の基本計画である「知床五湖利用調整地区利用適正化計画（第3期）」では、モニタリング計画に基づき、自然環境や利用状況の変化に応じた順応的な管理を行うこととされており、同計画に基づき、植生の状況や歩道の浸食・拡張状況の変化を把握する調査等を実施しております。なお、調査の結果等は、知床データセンターで公表しております。 引き続き、知床五湖の自然環境の保全、野生動物への影響、利用者の安全や自然体験の質の確保に留意しながら、適切な管理運営を実施してまいります。